

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月20日

計画の名称	地域の課題解決を目指した地方創生の拠点づくりを支援する道路整備											
計画の期間	平成 30 年度 ~ 令和 02 年度 (3年間)											重点配分対象の該当
交付対象	宮崎県,えびの市											
計画の目標	「道の駅」における休憩施設等の基礎機能の向上により、道路利用者の安全性が確保されるとともに地域の拠点となる「道の駅」の活性化が図られる。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	206	A	206	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
					H28末		R3末	
1	「道の駅」における駐車場等の基礎機能向上を図ることにより、利用者数の増加が見込まれる。 「道の駅」が位置する市町の観光客の伸び：県一体型 7 駅 県一体型「道の駅」が位置する市町の観光客数の平成 28 年度からの伸び率				0%	%		15%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																																																		
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況																																		
		H30		H31		R02		R03		R04																																								
		一體的に実施することにより期待される効果																																																
備考																																																		
道路事業																																																		
A01-001	A01-001	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)222号「道の駅」酒谷	多機能トイレ等整備 外	日南市					50	-																																	
A01-002	A01-002	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)327号「道の駅」とうごう	多機能トイレ等整備 外	日向市					130	-																																	
A01-003	A01-003	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)448号「道の駅」なんごう	非常用電源装置整備	日南市					10	-																																	
A01-004	A01-004	道路	一般	えびの市	直接	えびの市	市町村道	改築	(1)湯田永山線・「道の駅」えびの	駐車場整備	えびの市					16	-																																	
																206																																		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

宮崎県県土整備部道路保全課にて評価を実施。

事後評価の実施時期

令和5年3月

公表の方法

宮崎県ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況

・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、県独自の緊急事態宣言の発令や、国のまん延防止重点措置の適用対象地域になるなど、外出自粛が要請されたこと等が影響したことにより、定量的指標はマイナスとなった。

定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）

・多機能トイレ、駐車場、非常用電源装置を整備したことにより、防災機能の向上が図られた。なお、「道の駅」酒谷、とうごう及びなんごうの3施設は、令和4年3月に「防災拠点自動車駐車場」に指定されており、広域災害応急対応の拠点として活用されることが期待される。

特記事項（今後の方針等）

・定量的指標の根拠となる「令和3年宮崎県観光入込客統計調査結果」が令和5年1月に公表されたため、事後評価実施時期が令和4年度末となった。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	15%	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、県独自の緊急事態宣言の発令や、国のまん延防止重点措置の適用対象地域になるなど、外出自粛が要請されたこと等が影響したと考えられる。
	最終実績値	-45%	